

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	36110	電話	042-769-8200
担当部課名	企画部	広聴広報	課	広報 班
事務事業名	声の広報さがみはら			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	高度情報化への対応を図ります	事業開始年度
基本施策名	第1節	豊かな市民生活を実現する情報化の推進	63以前年度
施策名	第1施策	情報通信メディアを活用した行政サービスの推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市広聴広報規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

県費補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
月に2回(1日、15日)に発行している広報紙「広報さがみはら」の情報を、目の不自由な人に届ける手段として録音版を作成する	視覚に不自由のある人
	対象数 140(人・箇所)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
「声の広報さがみはら」の発行・・・月2回(1日号、15日号) 社会福祉協議会に作成委託	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	配布率	$(\text{声の広報配布対象者数}) \div (\text{全市の視覚障害1・2級の人のうち、施設などに入所していない人の数}) * 100$	録音版の広報を必要とする視覚障害者への配布率から録音テープによる広報効果をはかる	26	25	24	23	30

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	3,275	3,095	2,649	2,656	3,500
決算(予算)額	3,275	3,095	2,649	2,656	3,500
人員・時間数	2人×12日	2人×12日	2人×12日	2人×12日	2人×12日
人件費	774	774	774	774	774
その他経費	0	0	0	0	0
合計	4,049	3,869	3,423	3,430	4,274
特定財源	2,183	2,114	1,766	1,413	1,800
対象数	121	115	115	115	150
対象の単位あたり経費	33.5	33.6	29.8	29.8	28.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	・「声の広報さがみはら」では、「広報さがみはら」に掲載した情報のほとんど全てを音声化している。 ・「声の広報さがみはら」は、希望するすべての障害者に郵送している。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある ・視覚障害者にとって、印刷物を音声化したものは、情報取得の方法としては欠かれないものである。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	・録音版広報を必要としている人のもとに、郵送で着実に届いている。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	・対象者が限定されている事業のため、コスト高である点は否めない。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	・「声の広報さがみはら」では、「広報さがみはら」に掲載した情報のほとんど全てを音声化している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: ・障害福祉課と協力し、「声の広報・点字版広報」の周知をさらに徹底する。 ・録音した音声化市ホームページでも活用するなど、2次活用を検討する余地はある。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 視覚障害者への広報手段として、録音テープによる広報は多くの市町村で行われている。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	視覚障害者への広報手段として、録音テープは定着しており、このまま継続して続けていくべき事業である。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--